

その他の建設業—その他における墜落・転落災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	14～15	現場へ向かう際、道を間違えてしまったためUターンしようとしたが、道幅が狭いためミラーを折りたたんで何度か切り返しをして戻ろうとしたが、その際にバックしすぎてそのまま後ろから約5m程の崖下に落下した。	56	1～9
1	16～17	駐車場敷地内で太陽光設備設置中にパネルを運ぶ際、脚立の2～3段目あたりで足を踏み外し、転落してしまった。	60	1～9
1	11～12	外壁ぬり替えのための足場で作業中、横向きで移動していたため段差（80cm）があるのに気づかず、足を踏みはずして80cm下の足場に落下し、負傷した。	72	—
1	14～15	外構工事にてカーポートを組み立て中、脚立の上でバランスを崩して転落し、両足かかと粉碎骨折を負った。	63	1～9
1	14～15	工場にて、社長と二人で倉庫内の工具（チェンブロック、レバブロック等）を整理している際、チェンブロックが何かに引っ掛かり、強引に手前に引いたとき、スコタンして後方に転倒して、真後ろにあった工具棚の鉄骨で腰を強打した。	33	1～9
1	10～11	会社倉庫内で、脚立に乗り高さ約2m上の棚からかっぱを取ろうとし、脚立を登ぼっている途中でバランスをくずし、脚立の上から落下し、右足くるぶしを骨折した。	30	—
2	9～10	工場内に非常照明器具を増設工事中に6尺脚立では届かなかった為、梯子作業を行っていた。床は石材で、滑りやすいことは認識があり、当初は二人作業で支えていたが、上部作業員が材料取りを指示し支えの作業員が離れた時に上部作業員が手を休めずに作業して梯子が滑り梯子ごと落下してしまい、左膝の半月板を骨折してしまった。	47	1～9

2	9~10	敷地内倉庫で、倉庫の屋根（折板屋根）を塗装しようと、3.5のはしごを樋を立て掛けたところ、不安定だった為はしごを樋に縛りつけようと登り、縛ろうとした時にバランスが崩れ、落下した。そして右足かかとと腰を負傷した。	23	—
2	13~14	解体した家屋の木材をトラックの荷台に載せる作業をしていたところ、バランスを崩してしまい、木材とともに地面に落下し、両脚太ももを骨折し、尿道が切れ、下半身全体を強打した。	45	—
2	10~11	敷地内でテントのシート張替作業中に突如、突風シートの一部がめくり上りそれを直そうとトラスの柱をよじ登り、めくり上ったシートを下に引っ張っていたところ、足が滑り高さ1.5mから落下した。着地は上手くしたが、基礎のコンクリートの角にふくらはぎをぶつけて打撲した。	46	30 ~ 49
2	10~11	施行作業中にアスファルトフィニッシャー左部より、足を滑らせてしまい、40cm程低くなっている側溝へ落下し、2ヶ所骨折の負傷となる。	43	10 ~ 29
2	17~18	高所作業車のステージで4人で作業をしていた。地上で打ち合わせをしようと、ステージを定位置に降ろした。車輛のステップを使って降りようとした時に、地上約1.5m位の所でステップを踏み外して地上に落下して頭を地面に打った。	60	1~ 9
2	16~17	会社敷地内で、剪定作業をしていたところ、バランスを崩し、脚立から転落し負傷した。	65	—
2	16~17	5番ゲートの屋外でW8100×H1200のバナー5九尺脚立にのぼり、高さ4mに横張りしているワイヤーに吊り込みを行っている最中、脚立がグラつき身体のバランスが崩れ、そのまま一緒に傾き始め、一度ワイヤーに手を掛けたが、身体が傾いた状態で落下し左足かかとを骨折した。	40	1~ 9
3	14~15	建物解体現場にて、2階のコンクリート部分を建物から切り離す作業をしていた際、コンクリートの塊と一緒に2階部分から落下し、全身を強く打ち負傷した。	43	1~ 9
3	16~17	改修工事で使用するスチール足場板（長さ3600mm）をトラックの荷台に積み込み作業中、25枚重ねた足場板を荷台の上で整えていたとき、1枚の足場板が滑り落ちてきて、それと一緒に荷台（高さ約1m）から後ろ向きに転落し、左腰部を受傷し	67	1~ 9

		た。		
3	15~16	プール室の窓ガラス清掃および付随作業を行っていた被災者が、作業員全員による工事終了の確認のあと、資機材の片付けを開始していた作業員とは別に単独で作業するため、設置してあった片付け前の高さ約4.0mの脚立を用いて窓枠上へ移動し、そこを歩行中、あるいは作業中に、何らかの原因で高さ約4.0mの床面に墜落し被災した。	49	50 ~ 99
3	14~15	現場の2階から1階に下りる階段において作業中、階段を踏み外し足首を怪我した。	41	1~ 9
3	14~15	当初資材置き場にて、場内を照らしている照明の角度を直そうと、地面に傾斜がある不安定な場所で脚立に上り作業をしていたとき、バランスを崩し脚立から転落し負傷した。	35	1~ 9
3	12~13	解体現場にて内装材撤去中、2階の床が抜けて1階床に落下し、背中を打ちつけた。	19	1~ 9
3	9~10	資材置場の整備をしていたとき、2tトラック車上（荷台）からバランスを崩して転落した。	19	1~ 9
3	14~15	高さ3mくらいの選定作業を行うため、園芸用三脚を立て、木の2.3mくらいの高さの枝に上がろうとした時にバランスを崩し、転倒した。	48	1~ 9
3	16~17	被災者は、親網展張作業をしていた同僚の応援を行おうと、支柱（スケール）に左手を掛け、右手でスリングを支柱に巻きつけるよう同僚に投げたとき、左手で掴んでいたスケールが剥れ、バランスを崩し、約8mの高さから墜落した。吸収塔入口部が開口状態で安全帯も使用していなかった。尚、吸収塔入口部は照明設備を設置しておらず、マンホールからの射光と同僚のヘッドライトのみで暗い環境であった。	18	10 ~ 29
4	13~14	改修工事現場にて、天井下地組み立ての作業中、屋根裏部屋へ上がる収納式梯子の上からバランスを崩し滑落し、右足を負傷した。	46	1~ 9
4	20~21	会社場内においてシートの片付け作業中、所定場所に収めて階段を下りていた時に足を滑らせ地上まで飛んだところ、着地した時に左足首をひねり骨折した。	21	10 ~

				29
4	17～ 18	自社の資材置き場で、はしごを使って資材の片づけをしていたとき、バランスを崩しはしごから地面に落下し、左足を負傷した。	66	10 ～ 29
4	15～ 16	造成工事現場で、フレコンバッグを運搬するため、大型ダンプに積込作業をしていた。クレーンオペレーターからダンプの荷台が見えなかった為、降ろす場所を指示するために荷台に上がって合図を送っていた時、既に積んであったフレコンバッグの吊りベルトに足を引っかけてつまずき躓き転倒し、荷台から転落した。	68	30 ～ 49
4	14～ 15	木造住宅解体工事現場において、手渡しでの内部解体中に、被災者は指示の無い雨どいを撤去する為に単独で屋根に上がり、旧光窓部分（トタン貼り）を踏み抜いて4m下の土間へ落下した。朝のミーティングの中で職長より口頭で注意喚起されていた場所であった。	26	1～ 9
4	16～ 17	工事現場にて、旧車庫の解体のため鉄骨を脚立上で切断中、鉄骨が落下し脚立に当たり本人が落下し、頭部・右上腕部を強打した。	26	1～ 9
4	11～ 12	別添にて	69	1～ 9
4	13～ 14	中間スラブにあるダクトを撤去するため2階から中間スラブへ脚立はしごを使用し降りたところバランスを崩し2.9M下のコンテナ上に落下し、そのまま1階床に落ち、左太ももを強打した。その際、安全帯は携帯してたが使用していなかった。	49	1～ 9
4	15～ 16	施主代表者と被災労働者の2名でテントの取付作業を行っていたとき、被災労働者が4尺（1,200mm）の脚立に登り、テント張り作業を行っていたところバランスを崩し、顔から転落した。	46	1～ 9
4	16～ 17	住宅解体工事で重機による建物解体作業中、重機付近が危険の為被災者に現場左奥側での作業を指示、重機と手元作業員で解体作業中、被災者が見当たらず、手元作業員に確認を指示した所、作業現場の左奥で仰向けに転倒していた。雨のため現場内の足元が悪く、被災者は複数回転倒していた。被災者は丸太足場に昇り作業を行っていたときに足を滑らし（転落の可能性有り）、事故当時はショック状態	51	10 ～ 29

		だった。		
4	0~1	店舗内エアコン取替作業の際、撤去準備中に室内機固定ボルトが外れ、室内機が被災者に乗りかかり、既設室内機撤去中の脚立足場（アルミ道板使用H1.8m）から転落する。	44	30 ~ 49
4	12~ 13	2階屋根で古瓦撤去中に誤って腐ったタルキを踏み、1階まで落下し骨折した。	39	1~ 9
5	8~9	家屋の解体作業で、被災者1階の屋根から2階の屋根に梯子で昇っていたところ、屋根に足を掛けるところで梯子が滑り、体勢を崩して1階の屋根部分まで落ち、体を打った。	64	1~ 9
5	8~9	お客様の庭で植木の剪定の作業をするため脚立で作業中、自分の足元の確認が不十分であったため脚立から転落し下にあった石に頭をぶつけた。	49	1~ 9
5	10~ 11	被災者は解体現場において仮囲いフェンス解体中に、番線を切ろうとしフェンスをつたって手と足をフェンスにかけて移動したところ、足元が滑りバランスを崩し落下してしまい、着地の際に右足踵骨を骨折してしまった。	44	1~ 9
5	18~ 19	現場作業後、当社の材料置場にて、見切（天井と壁境の材料）を脚立（1200）にて片付け、下りる際に上から2段目（1000弱）から飛び下り、左足首を負傷した。	22	1~ 9
5	10~ 11	自社の倉庫で、上にある道具を取ろうとして木の梯子にのぼり、降りる際に2.5m程の高さから滑って落ちてしまった。落ちる時に身体を捻って右背中から落ち、背中を打った。	27	30 ~ 49
5	8~9	林道の崩土集積及び搬出する際、タイヤショベルにて崩土を集積作業中、一旦集積後、タイヤショベルをバックするときに後方確認を十分しないままバックした為、路肩より重機と共に約2m下に転落した。	52	1~ 9
5	8~9	出張のため自宅マンションを出て階段を降りる際に、残り2段のところまで階段を踏み外して転倒し、右足を捻り骨折した。	48	500 ~ 999
5	0~1	宿舎で夜中トイレへ行く時、廊下照明が消灯していて暗かった。階段に差し掛かった時、近くにあったスイッチを押したが同時に階段（6段）から落下し、左腕	44	500 ~

		を強打した。		999
5	10～ 11	客先の工場建物（空調機取付作業中）から取付タラップをのぼる途中に手が滑り4m下に転落し、腰椎を骨折した。	32	10 ～ 29
5	15～ 16	脚立に乗ってコンテナの上の物を動かしている際、誤って脚立（約3m）から転落し、全身を強打した。	23	1～ 9
5	9～ 10	病棟の屋根に梯子を掛けて屋根端に溜まっていた落ち葉を落していた時、梯子が滑って2.7mの高さより転落して、右足かかとを負傷した。	58	1～ 9
5	10～ 11	ベルトコンベアテール付近で施工内容を決定する為、修理箇所の上にあったアースパッチを剥がそうとしている時に通路に乗って作業をしていたがアースパッチが剥がれにくく困難であったため、ベルトに上がり剥がそうと考え、テール後方の開口部から墜落し骨折（左大腿部頸部骨折・左肘頭部骨折・右手関節部骨折）した。	36	1～ 9
5	14～ 15	自社ガレージにて、12tラフタークレーン作業後、ガレージに戻り、クレーン車の汚れがひどいため洗車していたところ、車体が濡れていたため足を滑らせ2m位の高さから転落して左手首を骨折した。	31	1～ 9
5	16～ 17	軽量鉄骨二階建て事務所外壁改修工事現場で、足場から降りる際に足を滑らせて約2.3m位の高さから転落し、肩周辺を強打した。昇降設備はなく、手すり等があったかは不明である。	57	1～ 9
5	8～9	窓枠サッシ取付工事現場にて、取り付け済みの窓枠サッシが雨に濡れないようにシート及びベニヤ板を取り付けて、当該シート及びベニヤ板を取り外すために高さ4mの作業箇所へのぼってナイフでシートを切り外したところ、シート共に地面に墜落した。	69	10 ～ 29
6	13～ 14	現場で車の上に物を積んでいる時に、荷締めベルトが切れて、その反動で車体から落ち、怪我をした。	22	1～ 9
6	10～ 11	解体工事中、脚立をベランダに掛けて解体していた。ベランダの柱の基礎が弱く、柱と脚立が前へ倒れた為、本人が驚きバランスを失い、後ろへ脚立から落ちて頭や体を打った。何かが頭をかすめ少し出血した。	51	1～ 9

6	12~ 13	解体先現場にて、庇を解体中、上部から足を滑らせて転落した。	31	1~ 9
6	14~ 15	自社の倉庫内において倉庫の片付け作業中、脚立に乗って棚（高さ2m、奥行2m）の上に発電機を置き、場所を調整しながら置いていたところ、バランスを崩して脚立から後ろ向きに落下し、尻と左手を強打した。	57	1~ 9
6	16~ 17	2階事務所より、同僚と打ち合わせしながら階段を下りている途中、踊場より2、3段下の階段で滑り、階下まで落下した。	24	1~ 9
6	15~ 16	車庫で担当者の車点検部品交換（ジョイント）取り替えのため、取りに行く際にステップに足を乗せて降りたところ、足を滑らせ転倒し、左手をついて怪我をした。	60	1~ 9
6	18~ 19	倉庫片付け中、2階に荷物を運んでいる途中で階段から転げ落ち、左肩と骨盤を打った。	25	30 ~ 49
7	16~17	玄関の屋根にのぼり、玄関の屋根と壁の水切りを取り付け中、屋根の軒先から足を滑らし地面へ転落、両手に創と背中と腰を打撲受傷した。	75	1~ 9
7	8~9	構内物揚場資材置き場で被災者は、上部コンクリートガラを詰めたトンパックを元請支給の60tクレーンを使いユニック車荷台に積み込み作業を行っていた。最後の2袋を荷台後部に積み込む際、合図及び玉外しのため荷台にいた被災者が、トラック荷台あおりを超え転落し被災したものの。（被災者が病院に入院し、絶対安静状態で本人から事情聴取が現在できないため、転落した詳細原因については不明）	49	50 ~ 99
7	15~16	解体工事現場に於いて、建物内の解体作業中、誤って階段で滑り転倒、胸と手足を強打し負傷したものの。	49	1~ 9
7	14~15	2階建住宅の解体工事現場において、飛散防止のメッシュシート（180cm×360cm）を掛ける作業中、組んであった単管パイプ（直径5cm長さ4m）に乗りシートを掛ける際に、足を滑らせ、5~6m位の高さから転落した。一度鉄製物置の屋根（高さ2.5m）に落ち、その後1m位の高さの単管パイプに当たり、地面に落ち体を打ち負傷した。（ヘルメットは着用）。事故後直に救急車で搬送された。	73	1~ 9

7	15~16	県道側の傾斜地にて草刈を肩掛け機を使い作業中足を滑らし、下の県道に転落してしまい、その際肩掛け機の刃が右足首に当たり、2ヶ所裂傷してしまい傷口を縫合した。	37	1~ 9
7	10~11	上記日時、山林にて埋め立て工事のため、チェーンソーを使用して山林伐採作業を行っていた。その際に倒れてくる木を避けるために、もともと倒れていた木を飛び越えようとしたところ、右膝上腿を強打し転倒してしまったものである。	48	1~ 9
7	10~11	1号ろ過タンク（屋外）付近で、残塩を測定後、水質計器室に移動する際、通路階段（2段）より降りる時に足を踏み外し左足首を捻りながら足を着き負傷する。左足小指、中指、薬指の痛みと腫れが酷いため早退した。点検時、安全靴・ヘルメットは着用していた。	44	50 ~ 99
7	10~11	下記工事現場において、施主より2階屋根の雨樋の水はけが悪いとの指摘があり、様子を見るため1階屋根上に脚立を立て掛け、3~4段（高さ約1.3m）昇り掛けたところ脚立がしっかり固定されていなかったため、ずり落ちてしまい脚立ごと1階屋根上に落下し負傷した。	50	1~ 9
7	12~13	会員へのサービスである配水管の洗浄のために訪れたお客様宅にて、お客様の希望によりクモの巣撤去を頼まれた。1階屋根に上がり撤去しようとした際に苔で足を滑らせてバランスを崩し、地面まで落下した。	27	10 ~ 29
7	13~14	会社敷地内で車輛の荷台を片付け中、荷台の上で足をふみはずし、車輛周辺に置いてあった機材の上に左側を下にする形で、転落した。（本人談）発生時には周囲に誰もおらず、推定30分後に、代表者が発見した際、本人はその場にうずくまっていた。	64	1~ 9
7	11~12	吊り足場の中段足場にて検査を行っていたところ、検査に夢中になり、中段足場の昇降口に気付かず、1.93m下の主体足場の作業床に後落し、腰椎骨折した。	27	50 ~ 99
7	16~17	客先にて雨水排水工事の際、砂利の地面にアルミ製の梯子を立てかけ、屋根（高さ約3m）に上がる途中、砂利で梯子が滑り、バランスを崩し、梯子と共に地面に落ち、腰と左手を負傷した。	48	1~ 9

7	15~16	顧客が所有する敷地内にある高さ3m程の樹木（貝塚）を、3本足脚立の上から2番目に乗り、約2mの高さでバリカンを使って剪定していた。その時、脚立が不安定になり、バランスを崩し左側へ落下し転倒し、左手を強打し、手の甲3、4番を骨折した。	47	10 ~ 29
7	14~15	約2mの高さの倉庫と境界フェンスの間に雑木が生えていたので、伐採するために倉庫の屋根に上って作業中、屋根が破損して転落し、右手肘を骨折した。	31	1~ 9
7	16~17	鉄骨造解体工事の屋根部スレート撤去作業中に、屋根部のスレートを踏み抜き落下し、上半身及び下半身の打撲、右足距骨骨折、右肘擦過傷を負傷した。現場で屋根部に上る際に脚立を使用し、安全帯を安全対策用の親綱ロープにかけようとしたところ、鉄骨の劣化したスレート部分を踏み抜き、そのまま背面より落下した。鉄骨の劣化部分がスレートで隠れていたため、気づかずに踏み抜いた状況。	23	10 ~ 29
7	9~ 10	マンションの外側にある樹木を剪定の為に、三脚からコンクリートの塀に乗り作業していた。周りには外柵に囲まれた場所。作業中に足を踏み外し鉄柵に落下した際に、4本肋骨骨折と脇腹に鉄柵が刺さり（3~4本）出血、自分で鉄柵を抜き、地面に降りて他の作業員に助けを求めた。	67	1~ 9
7	13~ 14	構内タンク上部吊り足場折り返し部の先行解体で、吊木の0度側電線切断時安全帯のフック掛けをした状態では番線まで届かなかった為、安全帯のフックを親綱から外し番線を切断した。次の作業指示を確認しようと折り返し部の集積した足場の上を通り戻ろうとした際中央部付近で吊り足場が傾き集積していた足場材と共に墜落した。	37	10 ~ 29
7	16~ 17	2tダンプの荷台上で、現場で発生したゴムシートをカッターで細かく切り分け作業中、作業が完了し、荷台から降りる際に、切り分けて山になったゴムシートと荷台のアオリ部に右足が滑り込む形で挟まったまま体制を崩して転落し、一時宙吊りになり、右足を骨折した。	59	1~ 9
7	11~ 12	個人宅改修工事において、1階外部の板金作業中、脚立を立ててトタンをあてていた際、土台が不十分でバランスを崩して倒れ、コンクリートの地面に転倒し、左手首を骨折した。	64	1~ 9
	16~	バックホウのオイル点検中にバランスを崩し、バックホウの上から飛び降りた。		1~

7	17	片足を着地したが、下がコンクリートであったため、左足首を骨折した。	75	9
7	9~ 10	鉄骨荷下ろし作業時、トラック積荷の上体が反対方向だったため、地切後、荷を回転させながらゆっくり荷下ろししようとしたとき、荷を掴んだ手が滑り、落ちそうになったので飛び降りた際にバランスを崩し、左肩から墜落した。	30	10 ~ 29
7	13~ 14	工場内で内作中、脚立（2m）からバランスを崩して転落した際に左手首をついたため、左手首を骨折した。	20	1~ 9
7	8~9	事務所前作業場において、ポンプ車の後部に乗って配管を点検中、雨が降っていたため、足を滑らせて後ろ向きに地面に落下した。その際に右肘をつき、右肘を骨折した。	39	10 ~ 29
7	15~ 16	事務所敷地内において、社員全員で4tトラックの整理作業を行っていた際、被災者は4tトラックの上で荷おろし作業を担当していた。鉄板（800kg）を降ろすときにバールで隙間を作っていたところ、バールが跳ねて、それを避けようとしてバランスを崩して、トラック上より飛び降りて、右足踵を負傷した。	44	10 ~ 29
7	11~ 12	第3地区発掘調査において、営繕用地整備のため、斜面地の除草作業を行っていた。斜面高さ1.5m程のところから木の枝を掴み降りようとしたとき、木の枝が折れて落下し、側溝に右膝を強打して骨折した。	61	30 ~ 49
7	9~ 10	工場の3号キルンEP出口ダクトにて、修理箇所の点検をするため、被災者と製造係員の2名でダクトの内部に入った。被災者が整流板横を通して隣のダクトに移動しようとしたとき、幅約200mmの直管部を歩行中に足を滑らせ、3.6m下のルーバーダンパー上に転落した。点検作業時、被災者は安全帯を着用していたが未使用であり、親綱もなかった。また、ダクト内は照明がなく、足元が暗かった。	68	10 ~ 29
7	9~ 10	屋根に登り、2階側面を高圧洗浄中、ガンを持ったまま足を滑らせ転倒し、屋根から転落した（高さ3.6m）。その際、ヘルメットと安全帯は未装着であった。	50	1~ 9
9	15~ 16	法面で、集草作業をしているときに、足を滑らせて滑落し地面に身体をこすられ、切株に脇腹を打ちつけ、上記傷病となり12日間休業した。	41	1~ 9
9	9~	庭園で庭木の剪定作業中（庭木2mくらい）、脚立の2段目（0.5m）くらいのところから、体のバランスを崩して落下した。落ちたところに庭石があったため、石	35	1~

	10	に左手首、左肘を強打し、（骨折）負傷した。		9
9	10～ 11	第5工場内、喫煙休憩所天井清掃作業中（天井高2.7m）に、石こうボード（90cm×90cm）の天井を踏み抜き、休憩室の床に落下した。	28	1～ 9
9	15～ 16	現場作業を中断し、翌週使用する作業道具移動のため、本人自宅から現場作業道具等を事務所に移動する際に自宅アパートの階段において、バランスを崩して転落し、被災した。	54	10～ 29
9	14～ 15	上記日時頃、解体工事現場に於いて、ダンプトラックの荷台に乗り、廃材積み込み作業中、地面に落下、悪天候（雨）の為、足元が不安定になり、落下の際、左膝と右肘を強く打撲した。	45	1～ 9
9	13～ 14	解体工事現場の1階足場において、同僚の反対側へ向かう際に、住宅のひさしが足場近くまで飛び出ていたため、ひさしを伝わって乗り越えようとひさしに足をかけ体重を乗せたところ、ひさしが壁からはがれ、そのまま約3メートル下の地面に落下、右足を負傷した。	46	10～ 29
9	14～ 15	塗装、樋工事現場で被災者本人が2階バルコニーの中で脚立に乗り樋の取り付け作業中に物干し竿の固定金具に捕まった際に、固定金具のボルトがはずれてバランスをくずし地面に転落し、顔の擦過傷、左手首を骨折した。	43	1～ 9
9	15～ 16	テナントビルにて壁面看板の取り付け作業中、地上から高さ3mの屋根の上を歩いているときに、雨で屋根が濡れていたために、足を滑らせ地面に転落し、頭部全身等を打撲したものである。	31	1～ 9
9	17～ 18	当社北側資材置場で、翌日の現場準備をする為、2tユニックの荷台に立ち、資材を積み込んでいたところ、足をすべらせ荷台から転倒し、右腕部及び右側肋骨を骨折した。	32	10～ 29
9	11～ 12	個人宅、電話モデム交換工事にて、2階外壁に設置された電話交換機器の取り外し作業を終えはしごから降り、玄関先階段を下りる際、手に持っていた電話交換機器を落としそうになり、体勢を崩したところ、右足を階段から踏み外し、転倒落下、右足首強度の捻挫及び右肘に裂傷を負った。	27	10～ 29
		工場焼却炉内等点検委託において、3号炉内足場仮設中に仮設階段を使用して4階		

9	16~ 17	から3.5階に下りるために階段を一段下りたところ、仮設階段の上部フックと足場単管パイプの掛かりが悪かったため、階段が外れて、被災者が階段と一緒に3階作業床まで3.8m墜落し、左足首を受傷した。	57	1~ 9
9	14~ 15	船のホールド上でバケットの吊りワイヤー及び開閉ワイヤーの取り替えと平バケットからオレンジバケットの取り替え作業時、ホールド上にあがり振れ止めワイヤーをブームに取り付け中、なれなくて手間がかかりホールドの下で他の者が振れ止めワイヤーを押さえきれず、その結果ワイヤーに引っ張られる状態になりホールド内に落下した。	39	10 ~ 29
9	11~ 12	高さ2.5~3Mくらいの牛舎の屋根上にて、荷揚げした長さ9Mの屋根材を作業場所まで運ぶ最中、足を踏みはずし、下地の無い所を踏んでしまい、屋根が抜けて落下した。下にあったエサ用の舟に落ちてしまい、右脚の負傷、肋骨3ヶ所、背骨2ヶ所、腰骨1ヶ所、肩甲骨の下を骨折に至った。	65	10 ~ 29
10	13~ 14	建物外部入口上部に看板施工のため現場調査中、入口前に脚立を立て登って採寸等の作業中、誤って脚立より落下。左足及び左手首を負傷。	55	1~ 9
10	11~ 12	4tダンプトラックの荷台の上で、クレーン仕様バックホーによる大型土のう袋の荷降ろし作業中、荷台の上で大型土のう袋がある環境で、旋回方向の位置から退避しないまま合図を行い、荷が迫ってきたため、荷台より飛び降り着地した際に右足かかと部を被災した。	52	10 ~ 29
10	8~9	2世帯住宅の2階浴室改修において、システムバス組立作業中、直下の1階浴室荷重をかけ、1階浴室天井が崩落、同等に左第10、11肋骨を折った。	46	10 ~ 29
10	14~ 15	工場北側出荷室の屋根上部を横断していたケーブルを高所作業車にて東側屋根端部で切断撤去後、面側にて脚立を使用して撤去作業を行った。（面側は車両駐車中で高所作業車の設置が出来なかった）壁面の結束を外し、ケーブルを引き始め、端末が屋根端部に到達した時、屋根上部よりケーブル（重量:4kg~16kg）が落下し、作業者の肩に乗ってしまい、バランスを崩し脚立ごと転倒し、肘と骨幹部（左腕）を骨折した。	65	10 ~ 29
		一斗缶を持ち（右手で）当事務所の6Fに荷作業をしようと思い当事務所1F~2Fに		

10	23～ 24	ある階段で足を滑らせ、左手首は手のヒラ側、右手首は手の甲側で無理な形でついでしまい、転倒（その際右手首はグキッ音がした）転倒の同時に頭もコンクリート階段に打ち（首を左側にひねりながら）、その後右手首や右肩などの曲がりや上り方に問題があり（右手首は動かず、右肩はピクピクした感じ）、仕方なく無理して作業を続けたが、体が思わしくなかった。	49	1～ 9
10	13～ 14	自社事務所にて、蛍光灯の取り換え作業の為机に乗り降りる際、転倒し床に左膝を強打し胴部を負傷し救急搬送された。	56	1～ 9
10	16～ 17	事業場の資材置き場に解体資材の整理作業中、資材を取ろうと階段を上っている時、誤って段を踏み外してしまい、転倒した拍子に地面まで転落し背中と腰部を打った。帰宅して安静にしていたが、痛みが治まらなかった。	61	1～ 9
10	17～ 18	建具調整工事での作業が終わり、自社に戻り、駐車場でトラックの荷台に積んでいた。現場で使用した道具が落ちてしまい、それをもとに戻そうとして車から下りる時に、足を滑らして転倒し左手と頭部を負傷した。	70	1～ 9
10	10～ 11	足場の上で養生し、作業終了後、足場の手摺に乗ろうとした際、足を滑らせて足場から落下した。安全帯は腰道具に付いていたのだが、足場に付け忘れてしまい事故が起きた。	29	1～ 9
10	9～ 10	工場にて塗装工事ローリング足場で屋根下場作業中、スロープがあり道板を胴縁にかけて作業中、胴縁にかかっている板がハズれて高さ3.5m位の所から落下した。	52	1～ 9
10	11～ 12	本館2階の、食生活実習室を内装解体時に、天井の木部材を撤去しようとして、吊天井に上がりバーンで作業中に、横に移動して作業を行う際に足元の部材が木材からスチールに変わり換気レンジの所から先も頑丈と思い移動したところ、スチールの天板と一緒に床に転落し、腰を負傷した。	50	10 ～ 29
10	10～ 11	看板シートめくりをするための仮設足場（高さ約3m）にいた時にバランスを崩して足場より転落した。	44	1～ 9
10	16～ 17	本社での事務作業終了後、出張先（新築工事作業所）近くの借り上げ社宅に帰るため、新幹線の階段を上っている途中足を踏み外し足を咄嗟についたらつき方が悪く膝を捻って負傷。	26	30 ～ 49

10	13～ 14	3階建て住宅の外壁高圧洗浄作業中、雨天のなか脚立を使用し、足を滑らせ、脚立6段目付近より落下し腰椎横突起骨折した。	21	1～ 9
10	11～ 12	工場内でのボイラー清掃作業において点検口から点検口用ステージに出た後フロアーに降りる際、梯子を使用せずに下降した。その際転倒し、フロアーに置いてあるコードリールに左胸部を打ち肋骨を骨折した。	61	1～ 9
10	10～ 11	市営住宅の高木剪定中に、枯枝を踏んでしまい、枝が折れたため、高さ4～5mのところから落下した。木の傍に高さ2mくらいのフェンスがあり、落下途中にこのフェンスに当たり、歩道に落ちた。	37	1～ 9
10	10～ 11	撤去工事現場にて鉄塔及び局舎の解体を開始し、作業開始1時間後に1回目の休憩を実施した。休憩中に音がしたので、現場に行くと被災者が倒れており、解体建屋の屋上より転落したと思われる。	63	1～ 9
10	10～ 11	現場から産廃処理場まで土を運ぶため、ダンプに土を積み込み、ダンプのキャビンにのった際にバランスを崩し、足を滑らせ、そのまま落下（高さ2m弱）し、地面にあった大きい石に横腹を強打し、受傷したもの。	65	1～ 9
10	14～ 15	会社ヤード内で資材整理作業をしているときに単管の上に乗って作業中、乗っていた単管が崩れてトラックから落ち、足を地面についた際ケガをしてしまった。	21	1～ 9
10	9～ 10	本人は、管設置場所において、ビデ足場と鋼管パイプで組み立ててあった足場を解体する作業に従事していた。鋼管パイプを分解中に、鋼管パイプのクランプを外し作業を行っていたとき、足場2段目（約3m）から滑り、転げ落ち負傷したもの。	38	30 ～ 49
10	13～ 14	建物2階部分の外壁施行状況を確認していたところ足場より、足を踏み外して転落。左肋骨、胸椎横突起骨折。	37	1～ 9
10	16～ 17	資材置き場の看板のクラップが緩んでいたため、締め直そうと脚立にのぼり屋根にのぼろうとしていた時に、滑り、後ろ向きに砂利に落下した。その際、左手（ひじ）と尻付近を負傷した。	40	1～ 9
10	13～ 14	材料の積み降ろし中、トラックから転落した。	55	1～ 9
	16～	駐車場建設においてP看板を立てる際、角度調整を水平器を使って調整していたと		10

11	17	ころ、バランスを崩し脚立から約2.5m下に転落し左足首を捻った。	31	～ 29
11	15～ 16	建物南側において、作業床を設置するための十分な道幅がなく、かつ天面に高所作業用の丸環が設置されていないため、梯子を用いて作業を行う段取りを行った。梯子固定の為に梯子手摺り部に付けていたカラビナを調整するために梯子を昇降していた際、突風に煽られ、補助員が梯子を押さえていたが耐え切れず梯子ごと転倒した。転倒した際に右手と右膝を地面に強打し、骨折した。	37	～ 999
11	8～9	FRP管φ500の荷卸し作業の時、クレーン式バックホウで上部管材を吊り下ろしする作業の時、管を束ねるスリング材を管に回す作業を手伝おうとした被災作業員が、管から足を滑らせ落下し、着地した位置にレバブロックがあった為、左足を被災したものである。	65	～ 29
11	15～ 16	解体現場内で廃材を4tトラックに積み込む作業中、トラックの荷台の上で廃材を整理していた時、足元が不安定だったため、足を滑らせてトラック荷台（高さ2.5m）から転落し、頸部及び頭部を地面（コンクリート）に強打し、受傷した。 （保護帽、安全靴着用）	40	～ 29
11	17～ 18	弊社の車庫内で、トラックを車庫に入れて暗がりの中、明日の準備とトラック荷台の清掃をする為、荷台に乗って作業をしていたところ、足元が分からなくなり、荷台から転倒し地面に転落した。	50	～ 29
11	17～ 18	G号地新築工事の現場にて、階段室壁面のビニールクロスの必要要尺を採寸中に、階段から足を踏み外し約3メートル下に転落した。肩甲骨付近を強打し骨折したものである。	37	1～ 9
11	13～ 14	新庁舎建設に伴う解体工事の為、被災者は当日、手作業で解体工事を担当していた。被災者がダンプの荷台の上から、解体するスレート屋根を突っついて壊していた時、足を滑らして落下し、腰を強打した。	66	～ 29
12	10～11	高さ3mのパイプに足を掛け、金具のボルト締め作業中、誤って足を滑らせ落下し、両足で着地したが、右足首を骨折した。	38	1～ 9
		大掃除中に脚立を使って事務所2階外側の窓清掃をしていたところ、脚立から落下		10

12	11~12	し、右足の踵を骨折した。	33	~ 29
12	9~10	事務所内、天井付けの蛍光灯清掃時に脚立を使用し、左足を軸足、右足を同じステップへ下げた際にバランスを崩し床面に落下した。	55	1~ 9
12	14~15	工場現場内で、配線を移動するときに、梯子を使用し作業していた。梯子の固定が不十分なため、梯子が外れ、3m程の高さから落下し、左足踵を骨折した。	40	1~ 9
12	13~14	被災者は、トレーラダンプのオイル交換のため、ピットにて作業をしていた。ピット上の金網を移動させようと持ち上げて移動したところ、足を踏み外して背中から転落し、その際に背中をピットの角で打ち、打撲を負った。	51	~ 499
12	16~17	建方が終わり、屋根の野地板の釘打ち用に垂木の位置を出すために墨打していた。鼻先の方へ向かうとき、足が滑って落ちそうになり自ら飛び降りたが、下がアスファルトだったため足と背骨を折った。	40	1~ 9
12	10~11	外構工事において、RC造のガレージの門部分の左官作業を足場上（高さ約1.6m）で行なっていたとき、横に移動しようとした際に体のバランスを崩し、誤って地面に落ち、左足踝・右足膝および腰部を打ち負傷した。	76	1~ 9
12	14~15	当日は、台風で被害を受けたSH21・22号倉庫入口前の荷役場のシートの貼り替え作業と、SH23倉庫屋根シート張り替え作業を5名で行う予定だった。事故が発生した荷役場で、朝から作業を行い、高所作業車2台でシートを貼り替えた。昼休憩後、2名でシートの端部を接着するために、高所作業車でシートの上に上がり、中央部に横移動中、既設シートが破れて7.5m下に墜落した。	39	1~ 9
12	14~15	材料の運搬・積み降ろし中に、足を踏み外して転落した際、単管が落ちてきて当たった。	26	1~ 9

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html